



セルA1から、セルA10 に移動するマクロを作 りましょう。

	A	В	С	D
10				
11				
12				
13				
14				

こんな感じになります。

	A	В	С
1			
2			
3			
4			

# 1. セルA1をアクティブにする。

	A	В
1		
2		
3		

### 2. セルA1に色をつける(黄色)

	A	В	С
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

# 3. セルA10に色をつける(緑色)



4. Officeボタンをクッ ク。

		100 C
新規作成(N)		最近使用したドキュメント
┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━		
上書き保存(S)		
名前を付けて保存(A)	•	
自动 ED易(P)	•	
	۲	
送信(D)	•	
第行(U)	•	
閉じる( <u>C</u> )	_	
		Excel のオプション(1) × Excel の終了(※)

5. Excelのオプションをクリック。

Excel のオプション	2 <b>×</b>
基本設定           数式           文章校正	Excelの基本的なオプションを変更します。 Excelの使用に関する基本オプション
保存	<ul> <li>✓ 選択時にミニ ツール バーを表示する(M) ①</li> <li>✓ リアルタイムのプレビュー表示機能を有効にする(L) ①</li> <li>✓ [開発] タブをリボンに表示する(D) ①</li> </ul>
ユーザー設定 アドイン セキュリティ センター	配色(C): ポップ ヒントのスタイル(E): ポップ ヒントに機能の説明を表示する 本 並べ替え順や連続データ入力設定で使用するリストを作成します: ユーザー設定リストの編集(Q)…
リソース	新しいブックの作成時
	使用するフォント(N): 本文のフォント ▼ フォント サイズ(Z): 11 ▼ 新しいシートの既定のビュー(V): 標準ビュー ▼ ブックのシート数(S): 3 ◆



- 6. Excelの使用に関する基本オプションで、「開発」タブを リボンに表示するのチェックボックスをオンにする。
- 7. これで、エクセルのメニューバーに開発タブが表示され、マクロが作れるようになります。



8. 「開発」タブで、マクロの記録をクリックする。

0.	9 -	(" -) =						Boo	k1 - Micros	oft Excel	
	ホーム	挿入 /	ページ レイ	アウト	定楼	データ	校閲	表示	開発	アドイン	Acrobat
Visual Basic	ביין אין אין אין אין אין אין אין אין אין	■マクロの記録 ■相対参照で言 ▲マクロのセキュ ード	こ録 リティ	ション	デザイン デザイン モード 習 コントロ	プロパティ コードの表述 ダイアログの ール	示 )実行	נו איז	■対応付けの 当拡張パック ペデータの更 、	Dプロパティ 📑 新 XML	<b>}インポート</b> <sup>]</sup> エクスポート ド
	F1 4	+	0	fx							
- 4	A	в	С	-	D	E		F	G	Н	I
1				G					9	x	
2				Ě	クロの記録				6		
3				1	?クロ名( <u>M</u> ):						
4					Macro 1						
5				- 3	/3-トカット キ	( <u>K</u> ):					
6					Ctrl	+					
7					カロの保存業	=(1)-					
8					作業中の	- (ッ) ゴッカ					
9	-					///					
10					兄 <sup>1</sup> 月( <u>D</u> ):						
11											-
12			-								
13											
14								OK	*	4741	
15											
10							-				
17											

9. マクロの記録ダイアログボックスがでたら、マクロ名(M) にMacro1となっていることを確認して、「OK」をクリック す る。

<b>[</b> ]	9 -	(~ ~) ₹		
	ホーム	挿入	ページ	レイアウト
Visual Basic		■記録終了 ■相対参照 ▲マクロのセ - ド	で記録 キュリティ	家友
<u></u>	F1.4		- 6	f.,
	1.4 T			3.4
1	A	В		C
10	A	В		C C
10 11	A	В		C
10 11 12	A	B		C
10 11 12 13	A	B		0

10. シートをロー ルダウンして、 緑のセルがー 番上に来るよ うにする。



11. 記録終了をクリックする。

	A	В
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
4.0		

# A1のセル番地を一番 上に戻す。



13. マクロをクリック。



14. マクロダイアログボックスが表示されましたか?

表示されたら、実行(R)をクリックしましょう。



マクロが実行され、
 A10のセル番地が
 一番上に表示され
 ました。

できましたか?



<b>C</b>	1	(24) =					-
	*-4	挿入	ページレ	ィアウト	<u></u>	デー	-タ 杉
Visua Basi	ייש איז איז איז איז איז איז איז איז איז איז	■マクロの記 ■相対参照 ▲マクロのセ - ド	!録 で記録 キュリティ	<b>秋</b> 挿入 	デザイン デザイン モード 間	プロパ コード ダイア	ティ の表示 ログの実行
	F14		+ ()			0	
	A	В	(	Aa Aa	🗋 ab		E
1				Activ	eX בארם	ール	
2					I abi	*	
3				۲	A 🖪 🗧	*	
4					tonologication -		
5							
6							
7							

16. 「開発」タブから、「挿入」から「フォームコントロール」 ボタンをクリック。

	A	В	С	D	E	F	G	
1			<u>8</u>		0			
2			o ボ	タン1	0			
3			0		0			
4								
5		_						
6		マクロの	登録				2 ×	┛║
- 7			(M)-					
8		マリー 	<u>no</u> z Oliek					
9		Macro	1				和179月 FPX( <u>11</u> )	
10			•				記錄( <u>R</u> )	
11		_						
12								
13								
14								
15								
16		_				-		
17						· · ·		
18			保存先( <u>A</u> ):	乳いているすべて	のブック	-		
19		説明						
20								
21								
22						011		1
23						OK	キャンセル	
24								

# 17. ドラックして、フォームボタンを作ります。

	A	В	С	D	Е	F	G	
1			<b>0</b>		9			
2			。 ボ	(タンゴ	0			
3			0		0			
4		_						
5		マクロの	登録				8 ×	
6		ラカロタ(	M)-					
7		Macro 1	<u>m</u> y.					
8		Macrol						
9							記錄(R)	
10								
11								
12								
13								
14								
15						_		
16						Ŧ		
17		 マクロの(#	保存先(A): 開	れているすべてい	Dブック	•		
18		1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1						
19								
20		-						
21		-			_		<u> </u>	
22		-				OK	キャンセル	
23								
24								

#### 18. Macro1を選んで、「OK」をクリックして下さい。

- 4	A	В	С	D	E
1					
2			:		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					

- 19. ボタン名を移動とします。
- 20. 移動をクリックすると、先ほど設定したマクロが動き ます。





21. マクロの記録ボ タンをクリックし ます。

	A	В	С	D	E	F	G				
1											
2				移動							
3											
4		<u> </u>				9 2					
5		マクロの	記録								
6		マクロ名(	M):								
7		Mac	ro2								
8		21-1-1+									
9		VATES IN	ショートカット キー(K):								
10			Ctrl+								
11		マクロの信	マクロの保存先(1):								
12		作業	作業中のブック								
13		■ ■第8月(D)									
14											
15											
16											
17											
18					OK	キャンセル					
19											

22.マクロの記録ダイアログが表示されるので、Macro2と 表示されていたら、そのまま、「OK」をクリック。

<u> </u>						
新規作成(N)		ドキュメントのブレビューと印刷				
□□ ·····□ □ □ ····□						
		クイック印刷(Q) 変更を加えずに、ブックを既定のブリ ンタに直接送ります。				
名前を付けて保存(A)	۲	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
	٠					
配布準備(E)	•					

23. 印刷をクリック。

印刷	? ×
プリンタ 名前(M): Genon Inkjet MP170 Series ▼ 状態: アイドル 種類: Canon Inkjet MP170 Series 場所: 192.168.11.100 コメント:	プロパティ(B) プリンタの検出(D)
印刷範囲 ● すべて(A) ○ ページ指定(G) 開始(E): ◆ 終了(D): ◆	印刷部数 部数(C):
<ul> <li>印刷対象</li> <li>② 選択した部分(№)</li> <li>○ ブック全(本(E)</li> <li>◎ 選択したシート(𝒴)</li> <li>○ テーブル(B)</li> <li>□ 印刷範囲を無視(P)</li> </ul>	
印刷ブレビュー(W)	OK キャンセル

24. 印刷ダイアログボックスが出てきたら、「OK」をクリッ ク。



26. 次に前述同様に、フォームボタンを作ります。

	A	В	С	D	E	F	G
1							
2				移動			
3					_		
4					Ŭ		
5			이 자	マン 2	Ŷ		
6			Ö		ö		
7	(	マクロの登録				8	×
8							
9		マクロ名( <u>M</u> ):					
10		Macro2				[15] [15] [15] [15] [15] [15] [15] [15]	
11		Macro 1 Macro 2					(R)
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18						$\nabla$	
19		ラカロの保存性		ヽスオペアのゴック	5		
20				1897(0/%	/		
21		■光 <sup>0</sup> 月					
22							
23							
24					OK	<b>+</b> 7)	<i>1</i> セル
25							
26		-					

# 27. Macro2を選んで、「OK」をクリック。

	A	В		С	D	E
1						
2					移動	
3			_			
4						
5				印刷		
6						1
7						
8						
9						
10						
11						

28. ボタン名を印刷に変えます。 それでは、印刷ボタンを押してみましょう。 うまく印刷が出来ているでしょうか?